

議 長 これより監査委員の審査報告を求めます。代表監査委員 鍵和田毅志君。

代表監査委員 皆さん、おはようございます。鍵和田でございます。

それでは、お手元の決算書3ページ目をお開きください。そちらに監査報告書、審査意見書、書類となつてございますので、御覧になっていただきたいと思います。それでは、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

松監第1号、令和2年7月31日、松田町長 本山博幸殿。松田町代表監査委員 鍵和田毅志。同じく、松田町監査委員 大館秀孝。

令和元年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査意見書の提出について。地方自治法第233条第2項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和元年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書、並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また、地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査したので、その意見を次のとおり提出します。

令和元年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査意見。

審査の対象。1、一般会計。令和元年度松田町一般会計歳入歳出決算。2、特別会計。令和元年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算。以下、会計名のみ朗読いたします。松田町国民健康保険診療所事業特別会計、松田町寄簡易水道事業特別会計、松田町下水道事業特別会計、松田町介護保険事業特別会計、松田町用地取得特別会計、松田町後期高齢者医療特別会計。3、公営企業会計。令和元年度松田町上水道事業会計決算。4、令和元年度松田町一般会計並びに特別会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書。5、令和元年度松田町上水道事業会計損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表。6、松田町定額資金運用基金運用状況。

次に、審査の期間でございます。令和2年7月13日から22日までの5日間行いました。

審査の基本的態度。町長から提出された令和元年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する

調書並びに上水道事業会計決算損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表等の審査に当たっては、関係法令の規定に従い、決算計数の正否、出納行為の適法性及び予算執行手続等の適否について、関係諸帳簿及び証書類等を審査するとともに、必要に応じ、関係者の説明を聴取し、併せて例月出納検査時の資料を…次のページでございます。活用し、厳正かつ普遍的な審査を実施した。また、定額の資金を運用するための基金の運用状況の審査に当たっては、計数の正確性及び運用の適正かつ効率性について、同様に審査を実施した。

審査の結果。１、町長から審査に付された各会計決算書、財産に関する調書及び関係諸帳簿、証書類等を精査したところ、いずれも正確に記帳され、その内容も適正なものと認められた。２、本審査を通じて確認した予算の執行については、一般事務手続に改善を要するものを除き、関係法令等に準拠して行われており、適正と認められた。

決算の概要。令和元年度の一般会計ほか特別会計及び企業会計は、予算現額84億1,338万2,000円に対し、決算額は歳入で78億3,112万6,000円、一般会計46億4,957万5,000円、特別会計は31億8,155万1,000円。歳出で73億7,563万1,000円、一般会計44億955万1,000円、特別会計ほか29億6,608万円となり、歳入歳出差引額は4億5,549万5,000円、一般会計2億4,002万4,000円、特別会計ほか2億1,547万1,000円が翌年度に繰り越されており、健全性は維持されているものと認められた。また、予算の執行状況は、一般会計の執行率86.32%、前年度91.80%。上水道事業会計を除く特別会計が90.86%、前年度91.18%、上水道事業会計では72.84%、前年度72.86%の執行率となっている。執行内容としては、おおむね適正になされているものと認められた。工事等事業執行に当たっては、当初計画、仕様等を十分に踏まえ、最も安価で適正な方法が選択されていた。

３でございます。基金の運用状況を示す書類については、審査の結果、計数は誤りのないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、関連する事務の処理は、全ての重要な点において適正に行われているものと認められた。

4、審査における指摘事項。(1) 町税の滞納整理については、昨年度から徴収実績が伸びていることを確認したため、引き続き努力されたい。また、その他の債権徴収においても、財源確保の観点から積極的に取り組まされたい。

(2) 歳入の収入未済額及び歳出の不用額が大きいものについては、補正予算で減額するなど、その適正な予算措置をされたい。その際、歳出の不用額については、その他の必要な事業に転換するなど、財源を有効活用することを検討されたい。(3) 予算の科目名称については、国等の制度上の名称に準拠するために、内容が分かり難くなっているものがある。制度との整合性も考慮する必要はあるが、住民が分かりやすい名称とするように検討されたい。

以上でございます。どうもありがとうございました。

議 長 監査委員からの報告が終わりました。それでは、鍵和田代表監査委員には、これで退席していただきたいと思います。ありがとうございました。

代 表 監 査 委 員 失礼します。

(代表監査委員 退席)